| 学校番号 | T0106 |
|---|---|

平成 31 年度　　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 地学基礎（通信） | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 2 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書等 | 高等学校　地学基礎　　第一学習社 | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ

この科目は、通信科目であるため、3 週間に 1 回の授業です。そのため、1 回に進む量が、3 年生・4 年生の選択科目である地学基礎に比べて多くなります。ほぼ毎回レポート課題を出し、提出期限（配布後 1 週間後が目安）を設定します。全 7 枚の課題レポートのうち、6 枚以上のレポートの合格と、授業の出席率及び考査の得点から、単位認定の有無を判定します。他の通信科目もあり、レポートを毎回こなすのは大変かと思いますが、3 年間で卒業するための試練と思い取り組んでください。

2　学習の到達目標

毎回の授業に出席し、内容理解に努める。岩石や映像などを交えて、授業の理解を促すので、その中で、疑問点が出れば自分で調べるまたは、質問をして解決する。学年末考査の日にノート提出をしてもらい、1 年間のレポートと、授業プリントの有無を確認するので、毎回の授業のプリント及びレポートの自己管理能力を身につける。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

| 観点 | a：関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c：観察・実験の技能 | d：知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 授業に集中し、指示内容を聞き、配布物の自己管理ができるように努める。配布物（プリント・レポート）の整理を習慣づけることで、学習意欲を向上させる。 | 模型や映像及び教員の授業内容についての雑談などから、知的な想像力を養い、短文で課題に対して取り組めることができる力を養う。 | 岩石の模型などに実際に触れ、ルーペで観察させることで、それぞれの特徴を認識し、理解を深めさせる。 | 毎回の授業内容をレポート課題などで、整理し、次回の授業の理解に結び付けることができるようにする。 |
| 評価方法 | ・出席状況<br>・レポート課題の提出<br>・授業態度 | ・プリントの記述内容 | ・実習中の態度<br>・提出物 | ・レポート内容<br>・定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th>単元（題材）の評価基準</th><th>評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th><th></th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="4">前期</td><td rowspan="4">宇宙における地球</td><td>太陽系の誕生と星の種類</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a : 授業の内容を記録し、まとめる習慣をつけさせる。<br>b : 映像や話の内容から創造力を養わせ、疑問点を追及させる。<br>c : 地球の内部構造を理解し、ノートなどにまとめさせる。<br>d : 太陽系の星の種類や地球の内部構造についての知識をプリント及びレポートで整理させ、知識を整理させる。</td><td rowspan="4">学習状況<br>ノート<br>プリント<br>観察・意欲<br>定期考査<br>出席日数</td></tr>
<tr><td>地球の姿</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>惑星・準惑星・小惑星の分類</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>地球内部の層構造のしくみ</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">後期</td><td rowspan="4">地球の層構造の仕組み</td><td>火山の種類と岩石の種類</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="4">a : 授業内容に関する映像や図を見せながら解説を行い、関心を持たせる。<br>b : 岩石の模型を見ながら、その岩石が形成された環境を考えさせる。<br>c : 岩石の模型を触らせ、ルーペなどで観察させ、特徴をつかませることで、地層の構造の理解を深めさせる。<br>d : レポートに内容をまとめさせ、複雑な分野の整理をさせることで、知識を深めさせる。</td><td rowspan="4">学習状況<br>ノート<br>プリント<br>観察・意欲<br>定期考査<br>出席日数</td></tr>
<tr><td>地層の形成・分類<br>堆積岩・変成岩</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>地質時代の区分</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>対流圏での天気の変化</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

※表中の観点　a : 関心・意欲・態度　b : 思考・判断・表現　c : 観察・実験の技能　d : 知識・理解
※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。